



十月定例会（七日 メール句会）

兼題 「星」「蟬」

五十音順

特は特選 石田きよし選

かなかなの水面にこだま中禅寺

大崎石州

赤い羽根令和に生きる遺産かな

太田黒幸風

特 ひぐらしの呼び込む夜の帳かな

大森康政

伏す前の妻丹精のコスモス咲く

竹内雲泉

山門を跨ぎ九月の雨を聞く

田中資凡

特 切れ効かせ逸る調べのつくつくし

長池豆陽

特 日輪を追ふて色づく酔芙蓉

深見十方

特 小鳥来る大道芸のジャグリング

藤田紀潮

天の川故郷の空に安んずる

宮下ひかる

安曇野や流星を待つ夜もすがら

森田光彦

夕映えの中に溶け込む熟柿かな

山縣秀雄

ひぐらしや地獄のぞきに拝観料

吉岡誠山



いぼむしり見得切るやうに貌まはず

石田きよし